

【国語科】第3学年 単元名 「想像力を働かせ、俳句に親しもうー俳句の可能性ー」

令和元年6月10日(月)第5校時

3年A組(男子13名、女子10名 計23名)

指導者 鳥山未帆(T1) 朝比奈明子(T2)(指導教室 図書室)

1 単元の見通し

俳句の鑑賞や創作を通して、俳句に親しむ。

2 指導計画(全4時間)

第1時「俳句の可能性」を読み、俳句の特色などを知るとともに、教科書の5句の心情や情景を想像する。

第2時「俳句を味わう」に紹介されている俳句について、込められた心情や情景を想像し、鑑賞する。

第3時 図書の写真をもとに想像力を働かせ、自分なりの俳句を作る。

第4時 創作俳句をグループで発表し、鑑賞し合う。

3 司書教諭(図書主任)との連携及び使用図書等

司書教諭との打ち合わせ

- ・5月上旬 群馬県立図書館へ、俳句や自然、植物に関する本の選書と貸出を依頼。
- ・5月下旬 群馬県立図書館より、学習支援図書を3セット(短歌・俳句、植物、川・海)借用。

使用図書:

「写真で見る俳句歳時記」(小峰書店)「俳句でみがこう言葉の力」(学研プラス)

「日本の天然記念物」(講談社)「草津の四季美景」(日本写真企画)・「里山の道」(新潮社)等

4 本時のねらい

図書の写真をもとに想像力を働かせて言葉を考え、自分なりの俳句を作ることを通して、俳句に親しませる。

5 本時の展開(3/4)

学習活動(分) ○:留意点 点線枠:評価 ☆:振り返りの生徒の意識	使用する図書等
<p>1 前時までの復習をし、本時のめあてをつかむ。(5分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>めあて: 図書の写真から想像して、ぴったりの言葉を考え、俳句を作ってみよう。</p> </div> <p>○教科書p66~68やノートを見させ、俳句のルールや「俳句の可能性」の作者・宇多喜代子氏の「気に入った風景をカメラで撮るような気軽な感覚」で俳句を作ってほしいという言葉を確認する。そのうえで本時は図書の写真をもとに、実際に俳句を創作することを伝える。</p>	
<p>2 学習の手順を知り、教師の例句を聞く。(10分)</p> <p>○学習の手順(①写真を選び②どんな場面か想像し③情景・場面に合う季語と言葉を考え④形式を整える)を示す。</p> <p>○例句や写真も紹介する。</p> <p>☆自分にもできそうだな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上記の県立図書館より借用した図書 ・「日本の天然記念物」(講談社) ・「草津の四季美景」(日本写真企画) ・「里山の道」(新潮社)
<p>3 図書と写真を選び、自分で俳句を創作する。(30分)</p> <p>○使用図書をテーマごとに分類して机に置いておく。</p> <p>○机間指導しながら、個別の支援が必要な生徒にT2とともに声かけをする。</p> <p>○同じテーブルを使う生徒同士でアドバイスしあってよいと伝える。</p> <p>○俳句を一つ作れた生徒は、さらに挑戦するように伝える。</p> <p>○季語については歳時記を使って調べるか、便覧等で調べるよう指示する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【評価項目】 図書の写真をもとに、季語を使いながら俳句を作っている。(ワークシートの記述)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本の天然記念物」(講談社) ・「草津の四季美景」(日本写真企画) ・「里山の道」(新潮社) <p>等 計40冊</p>
<p>4 本時の振り返りをする。(5分)</p> <p>☆俳句を作ることは得意ではなかったけど、本の写真があることでテーマを決めやすかった。どんな言葉ならこの風景にぴったり合うのか考えることができた。</p> <p>○次時は、作った俳句をグループで鑑賞し合うことを予告する。</p>	

